

様式2（部活動用）

部活動別の新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	部活動名	顧問名
都立蒲田高等学校	バドミントン	

1 当該部活動の基本方針

バドミントンは、ネット型で対面してラリーを行う競技であり、接触を伴う競技よりは感染リスクが低い競技であるが、競技者との距離が近づくダブルスや室内競技という特性から、リスクに対する部員への感染対策徹底を周知する。

感染症における十分な環境整備から自己管理まで徹底して感染対策を行う。活動前の体調管理の徹底、体調不良者は必ず事前に顧問に連絡し、直ちに下校。練習参加は不可。

2 活動場所における感染症対策

持久走レベルで心肺機能を使う競技なので、原則マスクの着用、息が上がり苦しい場合は人がいない場所でマスクを外すことを徹底することなど、飛沫感染を避けるための工夫練習を施している。水分補給は個人所有のみとする。また練習中の発声は最小限とする。お互いが気を付けるように注意する。

また指導者、部員とのアドバイスミーティングは距離をとって行う。

3 活動前後の感染症対策

活動前後の体育館内の換気、消毒の徹底。個人消毒の徹底。

ネットやポールなど共有する備品の消毒の徹底。

トレーニング器具の消毒の徹底。

4 部室・更衣室等の利用計画

更衣室利用は密を避けるために一定の距離をとって利用する。

着替えた場所を各自が消毒。

部室は常に整理整頓を行い、使用した道具は消毒の徹底。

5 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

他の種目より、感染リスクが低いとおごることなく、感染リスクは徹底して行わないと効果が薄いことを理解して活動に真摯に取り組んでいる。また、活動後は速やかに着替えて、直ちに下校することを、指導を徹底している。

※ 各学校の実態等に合わせ、様式を適宜変更してください。